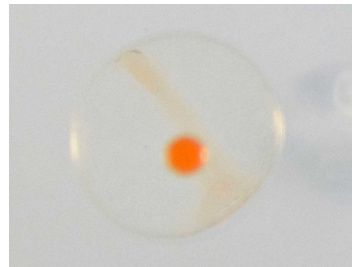


令和3年8月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

キンメダイ人工授精の実施

水産・海洋技術研究所ではキンメダイの種苗生産研究に取り組んでいます。伊豆分場では、人工授精、卵・稚仔魚の育成技術の研究をしており、7月14日に今年度第1回目の人工授精を行いました。今回は、漁業者の方に船上で卵を保存液に入れてもらい、それを分場に持ち帰るとともに、冷蔵保存された雄から精子を採取して受精させました。その結果、41尾の心化仔魚を得ることができました。動物プランクトンであるシオミズツボムシなどを与えて育て、心化6日後まで生残させることができました。キンメダイは、これから産卵の最盛期を迎えます。親キンメダイの捕獲をお願いしている漁師さんを始め多くの方に協力していただきながら、回数多くチャレンジし、キンメダイを少しでも長く生残させられるように頑張ります。



← 授精1日後のキンメダイの卵
(卵内にキンメダイの体がうっすら見える)



→ 心化5日後のキンメダイ仔魚

マダイ中間育成終了、放流へ

6月10、11日から始まったマダイの中間育成は、稚魚が放流に適した大きさまで成長したため、熱海市網代では7月27日、西伊豆町田子では7月28日に計測作業が行われ、放流するマダイ稚魚の尾数が調べられました。網代では流木で生簀に穴が開くなどのトラブルに見舞われましたが生残率は75%、田子では病気による被害を受け生残率は58%でした。これらのマダイは、伊豆の各地先で放流適地である港内へと放流されます。



↑ 熱海市網代での計測作業

伊東市ふるさと教室でチリモン探し

皆さんはしらす干しや釜揚げシラスの中にシラス以外の生物が混じっているのを見つけたことはないでしょうか？しらす干し(チリモンジャコ)に含まれるシラス以外の魚などを探しながら、海の豊かさや生物の多様性を学ぶ活動をチリモン探しと言います。伊東市教育委員会では毎年小学生高学年に対して行っているふるさと教室にチリモン探しを組み込んでおり、今年は7月13日に釣りやSUP体験とともに伊東市宇佐美で行われ、小学生45名の参加がありました。



↑ チリモン探しの様子

8月の予定 ●キンメダイの人工授精 ●相模湾定置網漁海況予測検討会(3日) ●県民の日事業親子水産教室を開催(11日) ●令和3年度中央ブロック資源評価会議(11、12日) ●スルメイカ資源評価に関する研究機関会議(30日) ●さけます等栽培対象資源対策事業研究設計会議(30日)

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。